



花の駅だより

令和2年 11 月



社会福祉法人東京児童協会

神田淡路町保育園大きなおうち

〒101-0063 千代田区神田淡路町 2-12

TEL03-6260-9555

FAX03-6260-9556

園長 菊地 恵子

11月は旧暦で「霜月（しもつき）」とも呼ばれます。聞いただけでブルッと震えてしまうような名前ですが、その名の通り「霜が降りる月」が由来と言われています。朝晩の冷え込みも厳しくなってくる月ですので、季節の変化と合わせて子どもたちにも由来について伝えていきたいと思えます。

また、今月は七五三があります。子どもたちの健やかな成長を祝う日ですので、園でも子どもたちと一緒に一人ひとりの成長を喜べるような活動に取り組んでいきたいと思えます。

この成長を地域の方々にも、見守ってほしいという思いもあり、散歩に行く際はいろいろな場所に顔を出し、挨拶をしています。先日は、八百屋さん、呉服屋さん、クリーニング屋さんなどに顔を出すと、「挨拶が上手だね」と褒められ自慢げに帰ってきた子どもたちでした。この挨拶回りから地域との交流も生まれています。

挨拶という文字を調べると、「挨」という字は“開く”という意味で、「拶」という字は“交わる”という意味があるそうです。つまり、挨拶をすることによって、まず自分自身の心を開き、同時に相手の開かれた心との交わりによって、お互いに心を通わせ合い、理解し合うのだそうです。どんな話し合いも、心が閉ざされては決してうまくいきません。人間関係は全て、挨拶に始まり挨拶に終わります。いうならば、挨拶は心の交わりの架け橋であり、潤滑油ではないかという事でした。子ども時代から挨拶が当たり前でできる子どもに育ててほしい。法人の中では挨拶を忘れてはならない大切なものとして意識しています。更に笑顔を加える事で、人と人がより良い人間関係を築いていけるように心がけ、大きなおうちの家族として、子ども、保護者、職員と毎日の挨拶を欠かすことなく取り組んでいきたいと思えます。

おしらせ

「バス遠足」

11月20日（金）



場 所：日比谷公園

対象：月組

持ち物：ひも付き水筒、レインコート、ハンカチ、ティッシュをリュックの中に入れてご持参ください。

酔いやすい子は酔い止めを飲んできてください。

※当日は、9:30までに登園してください。

「公開保育」

11月26日（木）

30日（月）

→ 花・星組

→ 月組

※詳細は、別紙にてお知らせいたします。

「個人面談実施」

11月24日（火）～

11月2日 16:00から受付開始です。

※詳細は、別紙にてお知らせいたします。

土曜日の保育が必要な方は、食材の発注や職員体制を整える為に使用したい週の水曜日までにご相談をお願いします。

幼児

10月は秋めいた気候になりつつも、肌寒く感じる日もあれば、まだ暑さを感じる日など忙しい体感の日々が多々ありました。そんな中、半袖や長袖や上着など自ら服装の調整をする姿や「暑い」「寒い」と保育士等に訴え、着替えを手伝ってもらう等して自分の体を守ろうとする姿勢が見られました。お忙しい中、衣替えや着替えの補充のご協力ありがとうございます。

また、秋の味覚きのこやさつまいも、カボチャなど生の美味しい食材に触れ、匂いや感触、火を通す前の状態を観察する等しました。外見だけでなく、どのような栄養や働きがあるのかを調理さんから教えて頂き、友達同士で共有している姿も見られています。食事中メニューに食材が入っていると「ぼくがあらったいもだ!」「わたしたちのきのこは知っている!」「おいしいね!」と、嬉しそうなる表情を浮かべていました。

そして10月の締めくくりは、ハロウィンです! 収穫へと感謝するお祭りという意味合いも知った上で、みんなのイメージを合わせた顔を本物のカボチャに彫り、ジャックオランタンを作りました。それぞれが好きなデザインで作り込んだ、個性溢れる衣装を着てハロウィン散歩にも出掛けています。地域の方々との久し振りの交流にもなり、子ども達は元気な挨拶をして関わりを喜んでいました。あたたかい雰囲気でも迎えて下さった地域の方々に、いつも見守られている事を改めて感じ、感謝する機会にもなりました。



あひる組

先月は気候の良い日には散歩やピロティなどの戸外活動を行いました。ピロティでの遊び方にも少しずつ変化が見られ、砂遊びでは感触を楽しむだけでなくレンゲや容器を使って料理に見立て遊ぶ姿が見られるようになりました。また、靴を履いて歩行を楽しみながら散策もしています。花壇の草花を見たり触れたり、落ち葉を踏んだり舞い上げたりして季節の自然物に触れて楽しみました。

室内ではタンボや指スタンプ等の絵の具を使った活動を行いました。絵の具では色が混ざる様子を不思議そうに見たり、感触を確かめるように思い思いに模様を着けていました。

来月は近くの公園へも足を延ばし、身近な自然に触れる楽しさをより感じられる月にしたいと考えています。



うさぎ組

残暑から一変、肌寒い日が一気に増えてきましたね。急いで衣替えした方も多かったのではないのでしょうか。

先月は今年度初めてうさぎ組全員が揃う事ができました。活動する場所を分け、少人数にするなど配慮しながら過ごしています。「〇〇いきたい」「〇〇ちゃんもあそびにいく」など子ども達からの発信も増えてきました。

天気の良い日には、散歩にも出掛けています。最近ではバギーから降りて植物や生き物に触れて楽しむ姿が見られました。

また、着替えに興味を持つ子が増え「自分でやってみよう」と袖に腕を通そうとしたり、ズボン履こうと頑張る姿が見られます。まだまだ難しいところはありますが、丁寧に伝えながら子ども達の意欲を伸ばしていきたいと思っています。



ひよこ組

「寒さはお構いなし!」とやっているかのように元気いっぱいひよこ組です。

先月は戸外での活動を多く取り入れ、少し遠くの神田公園にも散歩に行きました。登園時から歩く機会を設けて頂いた事もあり、少しずつ歩行力が身に付いてきた様に感じられます。自然に目を向け、「葉っぱが黄色になったのはどうして?」「とんぼのおうちはどこなの?」と疑問がたくさん生まれてきたようでした。子ども達の気づきや興味を大切にしていきたいと思っています。

来月も寒さに負けず、戸外での活動を取り入れていきたいと思えます。また、マラカスや鈴を音に合わせて鳴らすなどの音遊びも取り入れ、運動だけではなく秋ならではの活動を楽しんでいきたいと思えます。



〈 ほげんだより 〉

葉っぱの色も変わり始め、冬の足音の近付きを感じるようになりました。冬に多い感染症が流行し始める時期でもあります。手洗い・うがいを徹底し、感染症を予防しましょう。

感染性胃腸炎に注意しましょう！

寒くなるにつれてウイルス感染による胃腸炎が流行する可能性が高まります。代表的なものはノロウイルス感染症とロタウイルス感染症です。

◆ノロウイルス感染症

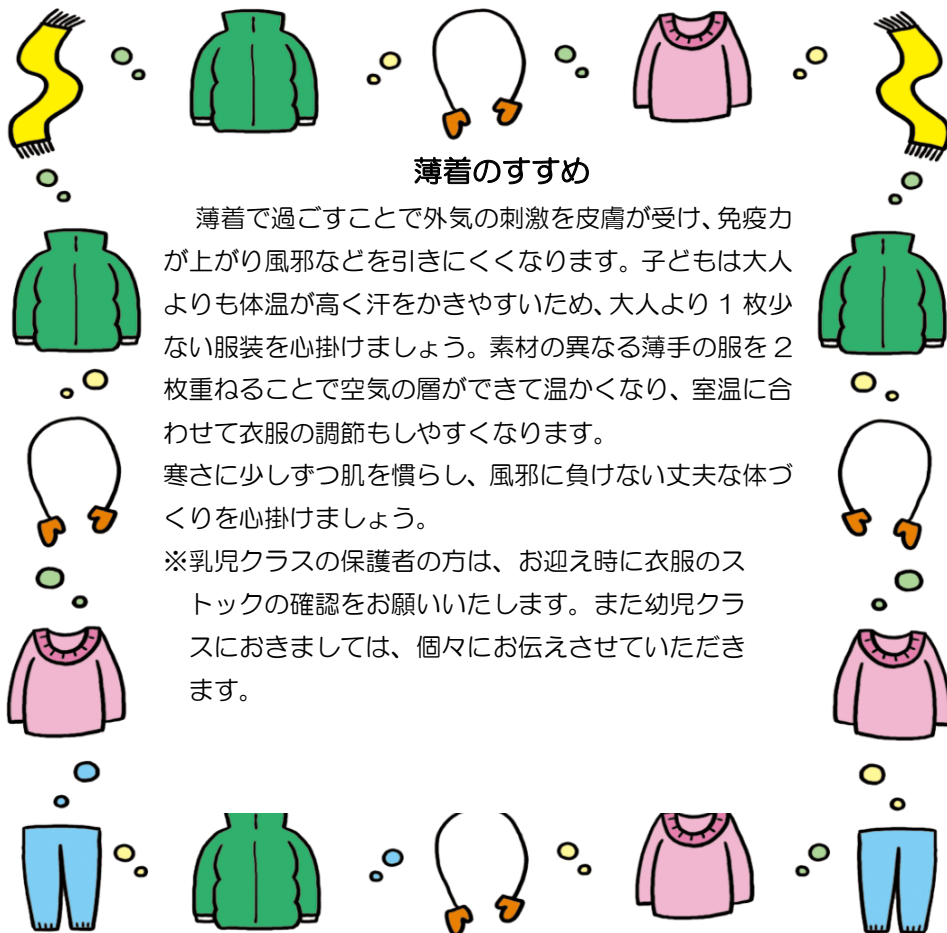
ノロウイルスに感染することにより発症する胃腸炎です。手や食品を介して体内にウイルスが入ることにより感染します。主な症状は嘔吐、下痢、腹痛です。乳幼児が感染すると重症化しやすいため注意が必要です。

◆ロタウイルス感染症

ロタウイルスに感染することにより発症する胃腸炎で、乳幼児期にかかりやすい病気です。主な症状は発熱、お米のとぎ汁のような水様便、吐き気、嘔吐、腹痛です。特に初めて感染した時に症状が強く見られるため注意が必要です。ロタウイルス感染症は予防接種により防ぐことができます。生後6週目から接種が可能で、24～32週までに2回もしくは3回(使用するワクチンにより異なります。)接種します。

【感染拡大を防ぐために…】

これらの感染性胃腸炎は、排泄される便や嘔吐物の中にウイルスが大量に含まれています。おむつの交換や嘔吐物の片づけをする時には十分に注意をし、手洗い、うがい、換気をしっかりと行いましょう。また、園での嘔吐、下痢時は感染予防のため衣服は洗わずにお返しさせていただきますので、ご家庭で熱湯での煮沸消毒や塩素系の漂白剤を用いての消毒をお願いいたします。



薄着のすすめ

薄着で過ごすことで外気の刺激を皮膚が受け、免疫力が上がって風邪などを引きにくくなります。子どもは大人よりも体温が高く汗をかきやすいため、大人より1枚少ない服装を心掛けましょう。素材の異なる薄手の服を2枚重ねることで空気の層ができて温かくなり、室温に合わせて衣服の調節もしやすくなります。

寒さに少しずつ肌を慣らし、風邪に負けない丈夫な体づくりを心掛けましょう。

※乳児クラスの保護者の方は、お迎え時に衣服のストックの確認をお願いいたします。また幼児クラスにおきましては、個々にお伝えさせていただきます。

◇ 身体測定

幼児： 11月 6日

乳児： 11月 5日

◇ 0歳児健診

11月4日、19日

◇ 全園児健診

11月4日



七五三について

七五三は、今まで無事に成長したことに対する子どもへのお祝いです。昔は今と違って、乳幼児の死亡率が高く、子どもの健やかな成長を願い、祈ることに切実な意味が込められていました。お参りする日には11月15日とされています。園では、特別献立でお祝いする予定です。



【お祝いする年】

男の子：3歳・5歳
女の子：3歳・7歳



【お祝いに関するそれぞれの意味】

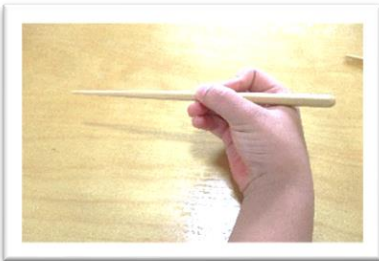
3歳：髪置き…髪を伸ばし始める
5歳：袴着…初めて袴を着る
7歳：帯解き…初めて帯をつけて着物を着る



～箸の正しい持ち方について～



①1本の箸を鉛筆持ちする
親指、人差し指、中指で箸を1本持ち、中指を曲げ伸ばして、先端を上下に動かします。



②もう1本の箸を差し入れる
親指の根元から差し入れ、薬指で支え固定します。



③上の1本を動かす
下の箸を固定し、上の箸を人差し指・中指の操作で動かして物をつまむようにします。



子ども達が“使いたい”“やってみよう”という気持ちを大切にしつつ、ご家庭でも無理なく進めましょう。まずは、スプーンやフォークで三点持ちが安定するようになってから、取り入れていくことをお勧めします。箸を使い始めた際には、おかずの大きさが小さすぎると箸でつまみづらくなるのでご家庭でも大きさに注意しましょう。園では、5歳児クラス対象にお箸のマナーも伝えていきます。

～正しい姿勢でご飯を食べよう～

食事時の姿勢は見た目だけでなく、消化にも影響します。正しい姿勢で食事ができるようご家庭でも一緒に確認してみましょう。

悪い姿勢

- 背中が丸まっている
- 足が床についていない
- よそ見をして食べている

正しい姿勢

- 背もたれに背中がきちんとついていて
- 足がきちんと床につき、そろっている



園では年齢に応じた椅子・机の高さに留意しています。

～感染性胃腸炎について～



冬場に流行するのが、嘔吐と下痢を伴う感染性胃腸炎です。牡蠣などの二枚貝を生あるいは加熱不十分なまま食べて感染する場合や、感染した人が手を十分に洗わずに調理をした食品を食べた場合などの感染があります。ご家庭でも十分に予防していきましょう。

園での対応

- 手洗いなど職員、環境での衛生管理の徹底
- 調理の際十分な加熱処理
- 嘔吐、下痢の際の清掃作業管理 など

予防のポイント

- こまめな手洗い、排便後、調理前、食事前は石鹸と流水でしっかり洗いましょう。
- 食材は中心部まで十分に加熱しましょう。